内閣総理大臣杯第63回全日本社会人
ウエイトリフティング選手権大会実施要項

１　主　　催　（公社）日本ウエイトリフティング協会／小林市／小林市教育委員会
日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会

２　主　　管　宮崎県ウエイトリフティング協会

３　後　　援　スポーツ庁／宮崎県／宮崎県教育委員会／(公財)宮崎県スポーツ協会／
小林市スポーツ協会

４　期　　日　令和８年11月21日（土）～11月23日（月）

５　会　　場　小林市文化会館
・所 在 地：〒886-0009　宮崎県小林市駅南232
TEL　0984-23-7400　FAX　0984-23-7955
・最寄り駅：JR九州　吉都線「小林駅」　徒歩３分
・最寄りIC：宮崎自動車道「小林IC」

６　日　　程　(1)総合開会式　　令和８年11月18日（水）午後５時30分～
小林市文化会館
(2)審判・監督会議　令和８年11月20日（金）午後６時00分～
（内閣総理大臣杯返還式）　小林市文化会館
(3)総合閉会式　　令和８年11月23日（月）競技終了後
小林市文化会館
(4)競技会　　別紙「競技日程（案）」参照
（参加人数により、日をまたいで変更する場合もある）

７　種　　別　個人選手権／団体対抗選手権

８　種　　目　規定２種目（スナッチ・クリーン＆ジャーク）

９　階　　級　８階級（60・65・70・75・85・95・110・＋110kg級）

10　競技規則　（公社）日本ウエイトリフティング協会制定の競技・競技会規則(以下「競技規則」という。)による。ただし、以下の事項については記載のとおりとする。
(1)抽選は、資格審査会でパソコンを用いて競技委員長が一括して行う。
(2)選手紹介は行わない。
(3)参加人数により、試技時間等を変更することもある。

11　競技方法　(1)個人選手権

各階級に部門を設けず、トータル記録で順位を決定する。

(2)団体対抗選手権

総合成績と、部門別（地域スポーツクラブ・官公庁等・企業）成績で合計得点により順位を決定する。

(3)参加選手団（１名のみの出場選手も得点対象となる。）の合計得点により順位を決定する。合計得点が同点の場合は、上位者の多い団体が上位となる。上位者も同数の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

各階級のトータル16位までを得点対象とし、次の表の得点を加算する。なお、得点対象者は１団体８名以内、１階級２名以内とする。

（参加者がこの枠を超える場合は、別チーム名で登録するか、または、A・Bチームとして登録すること。ただし、この場合、申込後の選手の入れ替えは認めない。）

【団体得点表】

順　位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
得　点	17点	15点	14点	13点	12点	11点	10点	9点
順　位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	16位
得　点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

12　参加資格　(1)（公社）日本ウエイトリフティング協会に令和８年度登録完了している者。

(2)平成20年(2008年)４月１日以前に生まれた者であること。

ただし、全日本学生連盟に加盟している学生と、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒は除く。（学連に登録していない学生は、地域スポーツクラブチームとしての申込みは可とする。大学名での申込みは不可）

(3)令和６年度以降において、次に定める標準記録に到達している者。

また、その記録が都道府県単位の競技会で達成されたものである場合は、その記録表を添付すること。ただし、開催地に登録籍のある選手については、標準記録に到達していなくても事前に申し出れば出場を認める場合がある。

※申し込む階級の標準記録に達していれば、予選の階級に関係なく申込みすることができる。

【標準記録】　（単位:kg）

階　級	60	65	70	75	85	95	110	+110
トータル	170	180	190	200	210	220	220	220

(4)チーム編成の条件

ア 地域スポーツクラブチーム

同一都道府県内に、現住所又は勤務先を置く選手で編成されたチーム。（チーム名は地域や、所属母体がわかる名称とする。）

イ 官公庁等及び企業チーム
同一都道府県内に勤務する者で編成する職場チーム。
ただし、同一事業体に勤務する者で、活動拠点が同一都道府県でない場合は、本社機能が存在する都道府県のチームとして申し込むことができる。

13 出場承認　(1)参加資格審査会において出場承認をする。
(2)出場不承認者には、10月23日（金）までに申込責任者宛てに連絡する。
(3)参加承認者には連絡しない。

14 申込方法　(1)申込責任者は「監督者又は所属長」とし、都道府県協会長の承認を得て申し込む。（クラブチームや都道府県単位で申し込む場合は総監督者とし、単独の官公庁等や企業チームの場合は所属長とする。）
※総監督者とは、複数の団体所属の選手がチームとして編成された場合の代表監督のことである。
(2)別紙「申込要領」を参照のこと。
(3)大会参加申込書（別紙申込書:様式１）は３部作成し、それぞれに都道府県協会会長印を押印し、下記２か所（ア・イ）に１部ずつ送付すること。なお、１部は本人控えとする。
また、参加申込書データ（エクセル形式）も下記２か所（ア・イ）にメールで送信すること。（会長印は不要）
ア　〒160-0013 東京都新宿区霞ケ丘町４－２JSOS内
(公社)日本ウエイトリフティング協会
TEL　03-6434-0681　FAX　03-6434-0682
メール　taikai@j-w-a.or.jp
イ　〒886-0004　宮崎県小林市細野38番地１
小林市教育委員会国スポ・障スポ推進室内
日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会事務局
TEL：0984-27-3325　FAX：0984-27-3526
メール：info.miyazaki.weight@gmail.com
(4)申込締切日　令和８年10月14日（水）必着

15 宿泊申込　別紙「宿泊・昼食弁当要項」による。

16 参 加 料　参加料は下記事項を遵守のうえ、期日までに指定金融機関に振り込むこと。
(1)１名につき　10,000円
(2)振込締切日　令和８年10月14日（水）
(3)参加申込書の「振込依頼名義人」に記入した名義で支払うこと。
(4)振込手数料は振込者の負担とする。

金融機関名	宮崎銀行　仲町出張所 （金融機関コード：0184　/　支店コード：410）
口座番号	普通　170682
口座名	(ﾆｯﾎﾟﾝﾉﾋﾅﾀﾐﾔｻﾞｷｺｸｽﾎﾟ･ｼｮｳｽﾎﾟｺﾊﾞﾔｼｼｼﾞｯｺｳｲｲﾝｶｲｼﾞﾑｷｮｸ) 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会事務局 ﾐﾅﾐｼｮｳｶﾞｸ ﾋﾛｼ) 南正覚　宏志

17　表　　彰　　・個人選手権

(1)最優秀選手に文部科学大臣賞を授与する。

(2)各階級ともトータル８位までを入賞とし賞状を授与する。１位～３位はメダルも授与する。また、各階級ともスナッチ及びクリーン＆ジャークの１位～３位までに賞状を授与する。

・団体対抗選手権

(1)最高得点を獲得した団体に、内閣総理大臣賞（杯・賞状）を授与する。

(2)団体総合の８位までの団体を入賞とし賞状を授与する。１位～３位までの団体には賞品を授与する。

(3)部門賞として、各部門の３位までの団体を入賞とし賞状を授与する。

ア　地域スポーツクラブチーム

イ　官公庁等チーム

ウ　企業チーム

18　ドーピング・コントロール

(1)本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。

(2)競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。

(3)本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイトからダウンロードすること。
(https://playtruejapan.org/entry_img/u18_template_20201116.pdf)
18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に１回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後７日以内にJADA事務局へ郵送で提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。

(4)本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

(5)競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技／運動終了後１時間の安静が必要となるので留意すること。

(6)日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイトにて確認すること。(http://www.playtruejapan.org)

19　大会期間中の肖像権について

大会期間中に撮影された写真等を、主催者又は小林市が作成する報告書、広報誌、ホームページ、SNS等に掲載されることがある。また、YouTube等で競技の様子がライブ配信されることがある。

20　そ の 他

(1)申込責任者は、出場選手の健康状態を確認し、参加申込をすること。

(2)参加申込書の区分欄に、必ずチェックを入れること。

(3)申込後の「階級変更」は認めない。

(4)申込後に出場の取消し、又は棄権した場合の参加料は返却しない。

(5)審判・監督会議は、チームの代表者が出席すること。(欠席する場合は、事前に日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会（前述14のイ）に連絡すること。)

(6)棄権する場合は、監督会議で申し出るか、事前に、前述14　申込方法の申込先２か所にメールで連絡すること。

(7)表彰式に参加できない場合は、実行委員会にその旨を連絡しておくこと。

(8)参加申込に際しては、個人の階級、氏名、所属、都道府県、生年をプログラムに掲載及び結果発表等を大会運営の目的で公表すること、競技会の画像・映像を大会関係者が使用することを承諾したものとして取り扱う。

(9)競技会中における選手の負傷事故については、主催者側において応急処置をするが、その後の責任は主催・主管側で負わない。なお、これらの事故が発生した場合は、速やかに監督者を通じて大会実施本部に届け出ること。

(10)宿泊・昼食弁当は別紙を参照すること。

レディースカップ第18回全日本女子選抜
ウエイトリフティング選手権大会実施要項

１　主　　催　　（公社）日本ウエイトリフティング協会／小林市／小林市教育委員会
日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会

２　主　　管　　宮崎県ウエイトリフティング協会

３　後　　援　　スポーツ庁／宮崎県／宮崎県教育委員会／(公財)宮崎県スポーツ協会／
小林市スポーツ協会

４　期　　日　　令和８年11月19日（木）～11月20日（金）

５　会　　場　　小林市文化会館
・所 在 地：〒886-0009　宮崎県小林市駅南232
TEL　0984-23-7400　FAX　0984-23-7955
・最寄り駅：JR九州　吉都線「小林駅」　徒歩３分
・最寄りIC：宮崎自動車道「小林IC」

６　日　　程　　(1)審判・監督会議　令和８年11月18日（水）午後４時00分～
小林市文化会館
(2)総合開会式　　令和８年11月18日（水）午後５時30分～
小林市文化会館
(3)表彰式　　令和８年11月20日（金）競技終了後
小林市文化会館
(4)総合閉会式　　令和８年11月23日（月）競技終了後
小林市文化会館
(5)競技会　　別紙「競技日程（案）」参照
（参加人数により、日をまたいで変更をする場合もある）

７　種　　別　　個人選手権／団体対抗選手権（高校の部･一般の部）

８　種　　目　　規定２種目（スナッチ・クリーン＆ジャーク）

９　階　　級　　高校　７階級（45・49・53・57・61・69・＋69kg級）
一般　８階級（49・53・57・61・69・77・86・＋86kg級）

10　競技規則　　（公社）日本ウエイトリフティング協会制定の競技・競技会規則による。
ただし、以下の事項については記載のとおりとする。
(1)抽選は、資格審査会でパソコンを用いて競技委員長が一括して行う。

(2)選手紹介は行わない。
(3)試技時間は40秒とし、連続の場合は１分30秒とする。

11　競技方法　(1)個人選手権

高校の部・一般の部に分け、各階級のトータル記録で順位を決定する。

(2)団体対抗選手権

ア　高校の部・一般の部に分けて、合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、上位者の多い団体が上位となる。上位者も同数の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

イ　参加選手団（１名のみの出場選手も得点対象とする。）の合計得点により順位を決定する。各階級のトータル８位までを得点対象とし、次の表の得点を合計する。なお、得点対象は１団体８名以内、１階級２名以内とする。

ウ　高校・大学の参加は、１校１チームの参加のみとする

【団体得点表】

順　位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
得　点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

12　参加資格　(1)（公社）日本ウエイトリフティング協会に令和８年度登録完了している者。

(2)満15歳以上であって、中学校を卒業した者。

(3)令和７年度以降において、下記の標準記録に到達している者。また、その記録が都道府県単位の競技会で達成されたものである場合は、その記録表を添付すること。ただし、開催地に登録籍のある選手については、標準記録に到達していなくても事前に申し出があれば出場を認める場合がある。

※申込みする階級の標準記録に達していれば、予選会の階級に関係なく申し込むことができる。

【標準記録・トータルkg】

高校は+69kg級までの７階級とする。　（単位:kg）

階　級	45	49	53	57	61	69	+69	
高校	100	110	120	125	130	135	140	
階　級	49	53	57	61	69	77	86	+86
一般	130	135	140	145	150	155	160	160

※申込者が多数の場合、階級ごとに参加者数を制限する場合もある。

(4)チーム編成の条件（１チーム８名以内）

・高校の部

同一の高等学校の選手で編成された１チーム

・一般の部

ア　地域スポーツクラブチーム

同一都道府県内に、現住所又は勤務先を置く選手で編成されたチー

ム。（高体連、学連登録者選手は除く。）

イ　官公庁等及び企業チーム
同一都道府県内に勤務する者で編成する職場チーム。
ただし、同一事業体に勤務する者で、活動拠点が同一都道府県でない場合は、本社機能が存在する都道府県のチームとして申し込むことができる。

ウ　学校チーム
同一の大学の選手で編成された１チーム

13　出場承認　(1)参加資格審査会において出場承認をする。
(2)出場不承認者には、10月23日(金)までに申込責任者宛てに連絡する。
(3)参加承認者には連絡しない。

14　申込方法　(1)申込責任者は「監督者又は所属長」とし、都道府県協会長の承認を得て申し込む。(都道府県単位で申し込む場合は監督者とし、単独の学校等で申し込む場合は所属長とする。)
(2)別紙「申込要領」を参照のこと。
(3)大会参加申込書（別紙申込書:様式２又は様式３）を３部作成し、それぞれ都道府県協会会長印を押印し、下記２か所（ア・イ）に１部ずつ送付すること。なお、１部は本人控えとする。
また、参加申込書のデータ（エクセル形式）も下記２か所（ア・イ）にメールで送信すること。（会長印は不要）

ア　〒160-0013　東京都新宿区霞ケ丘町４－２JSOS内
(公社)日本ウエイトリフティング協会
TEL：03-6434-0681　FAX：03-6434-0682
メール：taikai@j-w-a.or.jp

イ　〒886-0004　宮崎県小林市細野38番地１
小林市教育委員会国スポ・障スポ推進室内
日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会事務局
TEL：0984-27-3325　FAX：0984-27-3526
メール：info.miyazaki.weight@gmail.com

(4)申込締切日　令和８年10月14日(水)必着

15　宿泊申込　別紙「宿泊・昼食弁当要項」による。

16　参 加 料　参加料は下記事項を遵守のうえ、期日までに指定金融機関に振り込むこと。
(1)１名につき　10,000円
(2)振込締切日　令和８年10月14日（水）
(3)参加申込書の「振込依頼名義人」に記入した名義で支払うこと。
(4)振込手数料は振込者の負担とする。

金融機関名	宮崎銀行　仲町出張所 （金融機関コード：0184　/　支店コード：410）
口座番号	普通　170682
口座名	(ﾆｯﾎﾟﾝﾉﾋﾅﾀﾐﾔｻﾞｷｺｸｽﾎﾟ･ｼｮｳｽﾎﾟｺﾊﾞﾔｼｼｼﾞｯｺｳｲｲﾝｶｲｼﾞﾑｷｮｸ) 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会事務局 ﾐﾅﾐｼｮｳｶﾞｸ ﾋﾛｼ) 南正覚　宏志

17 **表　　彰**　高校の部・一般の部それぞれ部門ごとに表彰する。

(1)個人選手権は、各階級のトータル６位までを入賞とし賞状を授与する。１～３位はメダルも授与する。

(2)団体対抗選手権は、６位までの団体を入賞とし賞状を授与する。１位チームにカップ(持ち回り)を授与する。１位～３位までの団体に賞品を授与する。

(3)各部門の最優秀選手に、レディースカップ(持ち回り)を授与する。

18 **ドーピング・コントロール**

(1)本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。

(2)競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。

(3)本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイトからダウンロードすること。
(https://playtruejapan.org/entry_img/u18_template_20201116.pdf)
18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に１回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後７日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。

(4)本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、

日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

(5)競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技／運動終了後１時間の安静が必要となるので留意すること。

(6)日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイトにて確認すること。(http://www.playtruejapan.org)

19　大会期間中の肖像権について

大会期間中に撮影された写真等を、主催者又は小林市が作成する報告書、広報誌、ホームページ、SNS等に掲載されることがある。また、YouTube等で競技の様子がライブ配信されることがある。

20　そ の 他

(1)申込責任者は、出場選手の健康状態を確認し、参加申込をすること。

(2)参加申込書の区分欄に、必ずチェックを入れること。

(3)申込後の「階級変更」は認めない。

(4)申込後に出場の取消し、又は棄権した場合の参加料は返却しない。

(5)審判・監督会議は、チームの代表者が出席すること。(欠席する場合は、事前に実行委員会に連絡すること。)

(6)棄権する場合は、監督会議で申し出るか、事前に、前述　14申込方法の申込先２か所にメールで連絡すること。

(7)表彰式に参加できない場合は、日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会（前述14のイ）にその旨を連絡しておくこと。

(8)参加申込に際しては、個人の階級、氏名、所属、都道府県、生年をプログラムに掲載及び結果発表等を大会運営の目的で公表すること、競技会の画像・映像を大会関係者が使用することを承諾したものとして取り扱う。

(9)競技会中における選手の負傷事故については、主催者側において応急処置をするが、その後の責任は主催・主管側で負わない。なお、これらの事故が発生した場合は、速やかに監督者を通じて大会実施本部に届け出ること。

(10)宿泊・昼食弁当は別紙を参照すること。